

3年学年だより

根上中学校

2024/5/8(水)

— No.3 —

修学旅行を前に、平和学習を行いました

今なお、世界では戦争や紛争が絶えません。平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるかを、私たち一人ひとりが考え、今できることを地道に実現に移すことが、求められています。そこで、修学旅行では、「ピースおおさか」で戦争について学び、犠牲者を追悼し平和を祈念するとともに、大阪空襲を通して戦争の悲惨さ・平和の尊さについてみんなで考えていきたいと思ひます。

5月の総合的な学習の時間では、修学旅行に先立ち、広島のアノ子爆弾の被害を描いた「つるにのって」を視聴して平和について考える機会を持ちました。今回はその感想を紹介します。

1・2組の感想

今回の平和学習で平和の大切さと、原爆・戦争のことについてもっと知ってほしいと思ひました。太平洋戦争で日本がアメリカ・イギリスなどの連合軍と戦争をしましたが、原爆が投下されたのは戦争の末期なので、原爆を投下しなくても、他の手段で戦争を終わらせられなかったのかなと思ひました。このような悲劇をもたらした核兵器が世界からなくなればよいと思ひますが、最近の国際情勢でその実現はなかなか難しいとも感じます。しかし、もう二度と核兵器を使わない世界になってほしいと思ひました。(1組)

私は先週広島を訪れました。今の広島は原爆が落ちたとは思えないほど豊かで、美しい場所です。だけど、原爆ドームやその横に流れる川を見ると、頭に当時の景色が浮かびます。今回、放射線の恐ろしさが「つるにのって」という動画で、改めてわかりました。以前、「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」という、戦争の映画を見たとき、私は頭の中が真っ白になりました。死者や負傷者が多く、大変な生活を送っていたと考えると、今、私はとても幸せだなと思ひます。亡くなってしまった人の代わりとしても、大事な人、食料、環境を大切にしていきたいです。(1組)

沢山のつるによって、広島に落とされた原爆のことや、平和な世界にしたいという思いやメッセージが日本中に伝わっているのすごいい思ひました。そして二度とこんなことが起こらないように、広島に落とされた原爆の展示などがされているということが改めてわかりました。私も、とも子のように知っているつもりでも、本当に戦争の被害にあった場所に行き、自分の目で確かめてもっと深く知り、これからも学んで理解していこうと思ひました。(2組)

映像や写真を見て、戦争は本当にとっても悲しく辛いものだと感じました。幸せに暮らしていたなか、急にその暮らしを壊されるということは非常につらく、自分だったら耐えられないと思ひました。

どれだけ悲しいことでもやっぱり、簡単に目を背けず、この過去を受け止め、伝えていくことが大切なことだと思ひました。また、修学旅行の平和学習でもしっかり話を聞きたいと思ひました。そして、今でも戦争をしている国がありますが、その戦争も罪のない人を虐殺しているのと同じだと思うので、はやく戦争が終わればよいなと思ひました。(2組)

3・4組は次の学年だよりで紹介します。